

ケアマネジャー様向け研修会

『姿勢から診る摂食嚥下』 ～パーキンソン病の観点から～

パーキンソン病を発症されている高齢者は、地域の中でも多くおられます。パーキンソン病では、振戦・筋強剛・姿勢反射障害・無動の主たる症状があり進行すると寝たきりになってしまいます。そのような状態に陥った場合、誤嚥性肺炎を発症し、死に至ってしまうケースが少なくありません。

今回はパーキンソン病の病態を捉え、理学療法士から診る摂食嚥下について、ご説明をさせていただきたいと思えます。

摂食嚥下のスペシャリストは言語聴覚士ではありますが、理学療法士の視点も加えることで、より長く『食べる』という行為ができるかもしれません。

是非、ケアマネジャー様と情報を共有させていただき、尼崎市のパーキンソン病患者への支援に繋がればと願っております。

(講師：理学療法士 大槻)

日時

令和4年1月28日(金) 17:30~18:30

※定員10名 感染対策を講じた対面研修会を実施します。

会場

デイサービス Smart Care

尼崎市立花町1-14-11 ハイツルミナール1F

参加
無料

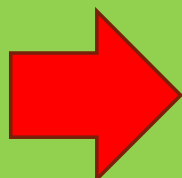
ご氏名

ご所属

連絡先

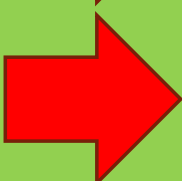
お申込みは、

F A X



06-6415-7143

QRコード



1月21日(金)までにお申し込みください。